近江八幡市地域おこし協力隊【文化会館による文化創造】 募集要項

1. 概要

近江八幡市には、織田信長が築いた「安土城跡」、近江商人ゆかりの「まちなみ」や「八幡堀」など、文化と歴史を感じられるイベントやスポットがあります。

平成 19（2007）年度には、文化庁より「文化芸術創造都市」の表彰を受け、また、文化庁が平成 27 年（2015）年度に制定した「日本遺産（Japan Heritage）」初認定のひとつ「琵琶湖とその水辺景観～祈りと暮らしの水遺産」の主な構成文化財として「近江八幡の水郷」等が選定されています。

文化会館では、文化芸術創造都市の実現を目指し、現在改修工事を実施しており、9月にリニューアルオープンします。

現在、本市ではこれら本市が有する地域資源を活かした「文化・芸術によるまちづくり」を推進しています。その担い手として、市文化会館を拠点とした事業の企画・運営、地域におけるアートイベントの運営・企画サポートに取り組む地域おこし協力隊を募集します。

2. 活動の内容

芸術活動を通じた地域活性化を推進するため、地域に入り、既存の文化行政の考え方にとらわれない柔軟な発想で、以下の活動に取り組んでいただきます。詳細は、採用後に改めて市担当者と協議のうえ決定します。

文化会館自主事業の企画、運営（アートコーディネーター）

- ・ 創造型自主事業（創作ミュージカル等）の企画及び継続実施可能な仕組みづくり
- ・ 行政、各種団体、事業者等と情報共有や連携することによる、文化会館を拠点とした人材育成や市内芸術家等のネットワーク構築

3. 活動場所

- ・ 近江八幡市文化会館（出町 366 番地）
- ・ 自宅、市内ワーキングスペース等
リモートワーク可

4. 募集人数

3名

5. 募集対象者

5-1. 必須要件

- (1) 三大都市圏(東京・名古屋・大阪)をはじめとする都市地域等に居住している、または、地域おこし協力隊であった方(同一地域における活動2年以上、かつ解嘱1年以内)で、隊員としての活動が決定した後、近江八幡市に住民票及び生活拠点を異動できる方
※地域要件については、総務省が定める基準(地域おこし協力隊及び地域プロジェクトマネージャーの地域要件)による。
※詳細は総務省ウェブページに掲載されている「特別交付税措置に係る地域要件確認票」をご確認ください。
- (2) 活動期間終了後も、近江八幡市で引き続き定住を考えている方
- (3) 心身ともに健康な状態で地域活動に意欲をもって積極的かつ誠実に活動できる方
- (4) パソコン(ワード、エクセル等)の操作ができ、SNS等を活用した情報発信ができる方
- (5) 地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない方

5-2. 歓迎要件

- (1) 文化・芸術業界での職務経験がある方(俳優・劇団員・アーティスト経験者など)
- (2) 市町等の文化ホールで企画や運営、実務経験がある方
- (3) アートマネジメントなどを専門的に学んだことのある方
- (4) 情報発信のためのWEBやフライヤーデザイン等の技術がある方
- (5) セルフプロデュースでコンサートやワークショップの開催ができる方

6. 活動時間

月 160 時間

- (1) 1日当たりの活動時間は、原則として8時間とします。
- (2) 1か月当たりの活動日数は、原則として20日間とします。

※所定の活動時間を下回った場合は、その分の報償が減額となります。

7. 活動期間

1年間とします。ただし、初年度は委嘱した日から令和8年3月31日までとし、隊員と市の合意のもと、委嘱した日から最長3年間まで期間を延長することができます。

委嘱日(活動開始日)については、令和7年9月1日の予定をしていますが、候補者との協議により決定します。

8. 任用形態

近江八幡市地域おこし協力隊設置要綱に基づき、市長が委嘱しますが、近江八幡市と雇用契約及び雇用関係はありません。

9. 報償費・活動経費

9-1. 報償費

上記「5-2. 歓迎要件」に該当する場合 月額 254,000 円 (R6 実績)

該当しない場合 月額 193,000 円 (R6 実績)

※支払時には、所得税を源泉徴収して支払います。

※雇用形態がないことから、所得税の年末調整は実施しません。自ら税務署への確定申告が必要です。

※これに加えて、従事期間に応じて期末手当を支給します。

上記「5-2. 歓迎要件」に該当する場合 最大 571,000 円 (6 月、12 月) (R6 実績)

該当しない場合 最大 434,000 円 (6 月、12 月) (R6 実績)

※初年度について、月途中で委嘱した場合は、日割り計算をして支払います。

9-2. 活動経費

報償費とは別に市との契約に基づき、委嘱期間に応じて活動経費を支給します。

※下記「10. その他、諸条件」(2)(3)を参照

10. その他、諸条件

- (1) 活動期間中の国民健康保険料、介護保険料、国民年金などについては、隊員の自己負担となります。
- (2) 活動に要する経費(活動旅費、消耗品費、研修会参加費等)は、別途、市の予算の範囲内で、隊員が市と委託契約を締結し、その委託料の範囲で支出します。(R6 実績 100 万円)
- (3) 活動期間中の住居は、民間の住居を借りていただくこととなります。家賃については 31,000 円を上限とし、上記(2)から支出することができます。住居に係る初期費用、光熱水費、インターネットなどの通信料、転居に係る費用、生活備品等は隊員の自己負担となります。
- (4) 活動に支障をきたさないことを条件に、兼業を認めることがあります。その場合は事前に市へ届け出て、許可を得る必要があります。
- (5) 活動を通じて知り得た秘密を他に漏らさないこと。委嘱期間が終了した後も同様とします。
- (6) 活動期間中であっても次に定める場合は、委嘱を取り消すことがあります。
 - ① 自己の都合により解任を申し出たとき
 - ② 傷病、事故等により、活動が継続できなくなったとき
 - ③ 活動を怠ったとき
 - ④ 地域おこし協力隊の信用を傷つけ、または市の不名誉となる行為を行うなど、委嘱者としてふさわしくないと判断したとき

11. 募集期間

令和7年4月1日(火)から令和7年5月30日(金) 17:00(必着)

12. 応募方法

下記「13. 提出書類」を、募集期間内に必着で、「16. 応募先・問い合わせ先」まで、郵送または電子メールにて送付してください。電子メールの場合は、写真や添付書類が読み取り可能なよう画質を確保し、PDF ファイル形式で送付してください。また、電子メールの送信後には到着確認の連絡をしてください。

募集期間内に受領したものを有効として取り扱います。一度提出したものを差し替える場合も期間内に再提出してください。

13. 提出書類

下記の(1)から(3)の書類を提出してください。なお、提出いただいた書類については、返却しません。

- (1) 近江八幡市地域おこし協力隊応募用紙
- (2) 住民票の写し(本籍・続柄・住民票コード・マイナンバーを省略したもの)
- (3) 活動提案書

活動提案書の様式は任意としますが、用紙サイズはA4判で2、3枚程度とします。

テーマは下記のとおりとします。①②の両方について、志望動機を含めて記載ください。

- ① これまで近江八幡市文化会館が実施している自主事業の課題
- ② これまでの経験や能力を活かした①の解決策…今まで近江八幡市文化会館になかった(不足している)自主事業・取り組みに関する企画を歓迎します。

14. 選考方法

- (1) 一次選考(書類選考)

提出書類により応募資格などを選考します。

結果については、令和7年6月初旬に応募者全員に文書で通知します。

- (2) 二次選考(面接試験)

面接により選考します。

日程は、令和7年6月下旬を予定しており、詳細は一次選考の結果をお知らせする際に通知します。

会場は、近江八幡市役所(滋賀県近江八幡市桜宮町 236 番地)を予定しており、面接に係る交通費は自己負担となります。

- (3) 最終選考結果の通知

上記の選考により近江八幡市地域おこし協力隊の候補者を決定し、二次選考の日から概ね2週間以内に文書で通知します。

委嘱の日については、候補者と市とで、着任準備に要する期間等について協議のうえ、決定します。

15. 応募先・問い合わせ先

〒523-0892 滋賀県近江八幡市出町 366 番地

近江八幡市 総合政策部 文化会館 担当：津田

電 話：0748-33-8111（4月：火曜日・第2月曜日・祝日の翌日を除く 9:00～17:00）
（5月：平日 9:00～17:00）

E-mail：090200@city.omihachiman.lg.jp